

区政報告

発行日：平成25年1月15日（火曜）

発行所：品川区議会公明党

住所：品川区広町2-1-36 議会棟5階

お気軽に、ご意見・ご感想をお寄せください。

■議会控室：品川区広町2-1-36

品川区役所議会棟5階

■電話：03-5742-6817

■ファックス：03-3774-3366

■Eメール：info@shinagawa-komei.org

■HP：http://www.shinagawa-gikaikomei.org/

品川区 平成23年度決算の概要

歳入 1,332億6,067万円 歳出 1,294億1,588万円

【23年度も、引き続き財政の健全性を堅持しています。】

主な内訳

歳入	特別区税	400億9,587万円 (30.1%)
	特別区財政調整交付金	356億2,613万円 (26.7%)
	国・都支出金	280億 23万円 (21.0%)
歳出	民生費 (子どもや高齢者の福祉、生活保護など)	564億2,335万円 (43.6%)
	教育費 (小・中学校、図書館の維持運営など)	241億6,619万円 (18.7%)
	土木費 (道路、公園整備など)	152億9,553万円 (11.8%)
	総務費 (徴税、庁舎管理など)	146億2,809万円 (11.3%)

品川区では、国の指針に基づき、自治体の会計を分かりやすく、透明性を高めるため、財務諸表を作成しています。

財務諸表から見た、区の財政状況のポイントは…

- 経常行政コストは「社会保障給付費など」が全体の65%を占めており、福祉に多くの経費がかけられている。
- 区民1人当たりの資産は、およそ276万円 負債は、およそ15万円
- 純資産が、公共資産（道路や学校など）を上回っていることから、次世代への負担がないことが分かる。

※詳しくは品川区ホームページにも掲載されています。

<もしもの時にお役立てください:番外編> 知っていますか?「ヘルプカード」

緊急連絡先や必要な支援内容などが記載された「ヘルプカード」は、障がいのある方などが災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲に自己の障がいへの理解や支援を求めるためのものです。



都では、障がいのある方が「ヘルプカード」を所持し、都内で统一的に活用できるように、標準様式を策定しました。

「ヘルプカード」は、特に、聴覚障がい・内部障がい・知的障がい・発達障がいなど、一見、障がい者とはわからない方や、妊娠初期の方や難病の方が、周囲に支援を求める際に有効であり、実際、役に立った事例が報告されています。

皆様も、地域でこれらのカードや手帳などを提示されたら、その記載内容に沿って支援をお願いします。

シナガワ博士の 区議会講座(選挙編)



博士、このまえ、大切な選挙があったみたいだね。そのときに、小選挙区って言うんだけど、小選挙区があるってことは大選挙区や中選挙区っていうものあるのかな？

小選挙区ではひとつの選挙区から1名の候補者が、大(中)選挙区では複数の候補者が当選するという仕組みなんですよ。



ふ～ん。なんか複雑なんだね。じゃ、僕の住んでる品川区はどんな仕組みの選挙が行われるのかな？

品川区では区議会議員選挙と区長選挙があります。どちらも品川区がひとつの選挙区になります。区議会議員選挙では、議員の定数が40人ですから、ひとつの選挙区から40人の当選者が出るわけです。(大・中選挙区) 区長選挙では選挙区から1人の区長を選びます。(小選挙区)



なるほど～。広さの大きい小さいではないんだね～。

そうですね。選挙区の面積の違いも見た目にはありますが、当選者の選出される数で分けられているんですよ。



じゃあさ、大(中)選挙区と小選挙区どっちがいいのかな？

どちらにも長所と短所があるんですよ。大(中)選挙区制には死票が少なく、投票者の意見を反映しやすいという長所があります。また、同じ政党から何人も候補者が出るので、人物を見て投票することができますね。一方で、小選挙区制は政党の政策や特徴を見て投票できるという特徴があります。



ねえねえ！「死票」ってなあに？

選挙で落選者に投票された票のことですよ。死票にふくまれる投票者の意見は、政治に反映されないことになりますよね。



小選挙区制で1人しか当選しないってことは、他の人に投票した人の意見は反映されないもんね。

区や都などの地方政治では、このような選挙制度で、より地域に密着した、住民の意見を反映した政治が行われるように考えられているんですよ。選挙権がある人は、きちんと投票によってその権利を使わないといけませんね。



なるほど～！じゃあ僕の「おやつの値上げ反対！」の意見も聞いてもらえるかもしれないね！僕も早く投票にいきたいな～。